

## 感 染 症 週 報 〔 市内週報 平成22年第17週・第18週 〕

結核・感染症発生動向調査

平成22年5月11日

平成22年第17週感染症発生状況【川崎市内】

平成22年4月26日～平成22年5月2日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届 出	累計(平成22年第1週以降)
<p>第17週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 水痘 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎となっています。</p> <p>感染性胃腸炎が定点あたり10.78人と前週(10.09人)に比較して患者数は増加しております。</p> <p>水痘は定点あたり1.81人で前週(1.59人)に比較して患者数は増加しております。</p> <p>腸管出血性大腸菌感染症の届出が1件(感染原因:不明、感染地域:不明)ありました。</p> <p>アメーバ赤痢の届出が1件(推定感染原因:性的接触、感染地域:不明)ありました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 4件	結核 105件
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1件	腸チフス 1件、腸管出血性大腸菌感染症 3件
	4類感染症	なし	デング熱 1件、A型肝炎 1件、レジオネラ症 2件
	5類感染症	アメーバ赤痢 1件	アメーバ赤痢 7件 ウイルス性肝炎2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 3件 梅毒 1件 風しん 1件 麻しん 3件

平成22年第18週感染症発生状況【川崎市内】

平成22年5月3日～平成22年5月9日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届 出	累計(平成22年第1週以降)
<p>第18週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 水痘 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。</p> <p>感染性胃腸炎が定点あたり6.06人と前週(10.78人)に比較して患者数は大幅減少しております。</p> <p>水痘は定点あたり2.00人で前週(1.81人)に比較して患者数は増加しました。</p> <p>ただし、第18週はゴールデンウィークの週であったため、休診となる医療機関が多くあったことから、報告数としては実際の患者数よりも少なかったことが推測されます。</p> <p>一方で、咽頭結膜熱(プール熱)や手足口病などの例年夏期に流行する感染症について、報告数が増加傾向にありますので、今後の動向に注意が必要です。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 3件	結核 109件
	3類感染症	なし	腸チフス 1件、腸管出血性大腸菌感染症 3件
	4類感染症	なし	デング熱 1件、A型肝炎 1件、レジオネラ症 2件
	5類感染症	なし	アメーバ赤痢 7件 ウイルス性肝炎2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 3件 梅毒 1件 風しん 1件 麻しん 3件







